



2017年2月期 決算説明資料

(2016年3月1日～2017年2月28日)
For the Year Ended February 28,2017



2017年4月10日

株式会社 **UCS**

UCS CO.,LTD.

Listed Company 8787



I 2017年2月期事業概況

(2016/3/1～2017/2/28)

1. 主要数値実績

(単位:億円、%)

項目	2016年2月期	2017年2月期	前期比	
			増減額	増減比
取扱高	8,276	8,705	+428	+5.2
営業収益	195	199	+4	+2.5
営業利益	38	3	△35	△92.1
経常利益	38	3	△35	△92.1
当期純利益	23	0.19	△23	△99.2
1株あたり 当期純利益 (円)	124.07	1.03	△123.04	△99.2

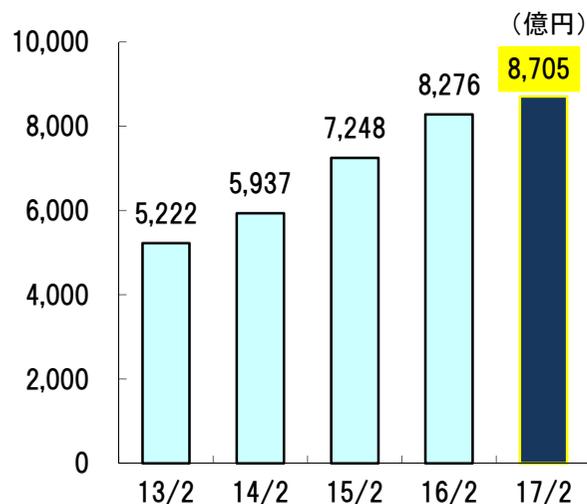
2. 主要財務数値

(単位 : 億円、%)

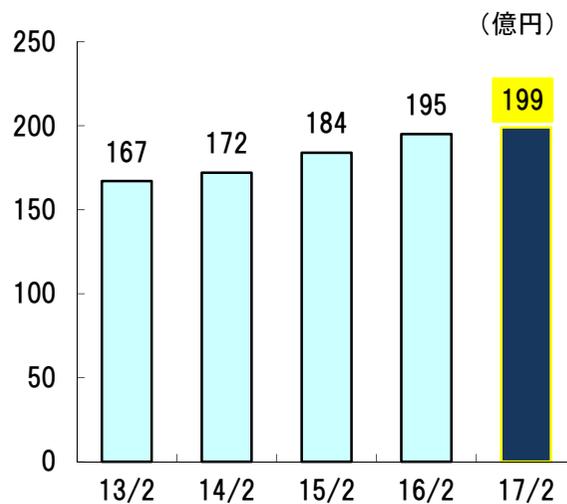
項目	2016年2月期	2017年2月期	前期末比	
			増減額	増減比
資本金	16	16	±0	±0
総資産	1,446	1,504	+58	+4.0
純資産	246	242	△4	△1.8
自己資本比率 (%)	17.1	16.1	△1.0	
1株あたり純資産 (円)	1,311.47	1,287.61	△23.86	

3. 財務ハイライト

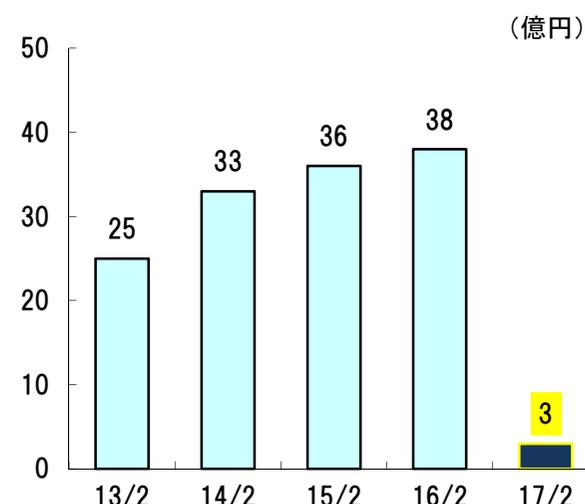
取扱高



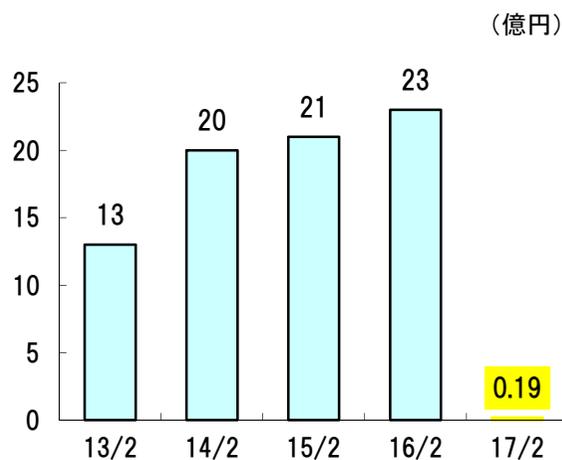
営業収益



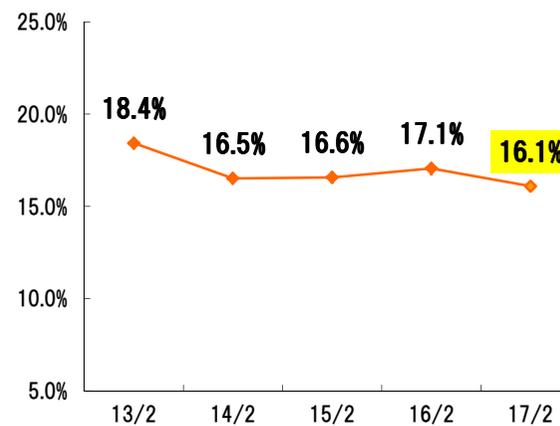
経常利益



当期純利益



自己資本比率

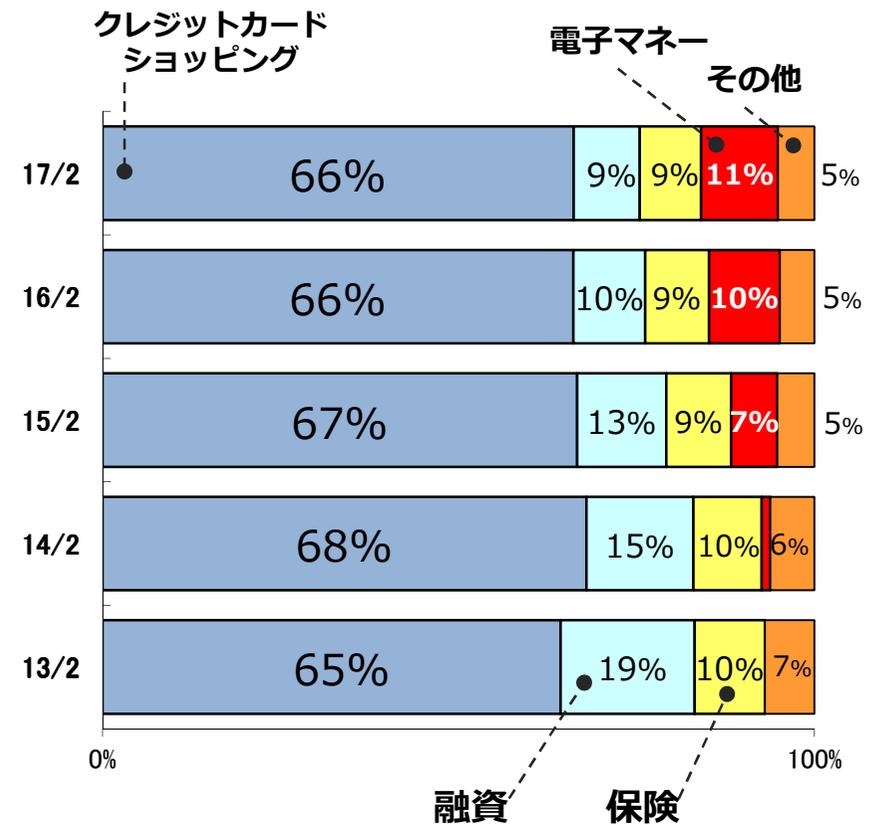


4. 営業収益

(単位：億円、%)

部門	2016年 2月期	2017年 2月期	前期比	
			増減額	増減比
クレジットカード ショッピング	128	132	+4	+3.3
融資	20	18	△2	△10.0
保険	17	17	△0	△1.3
電子マネー	19	21	+2	+11.6
その他	9	10	0	8.7
合計	195	199	+4	+2.5

部門別構成比

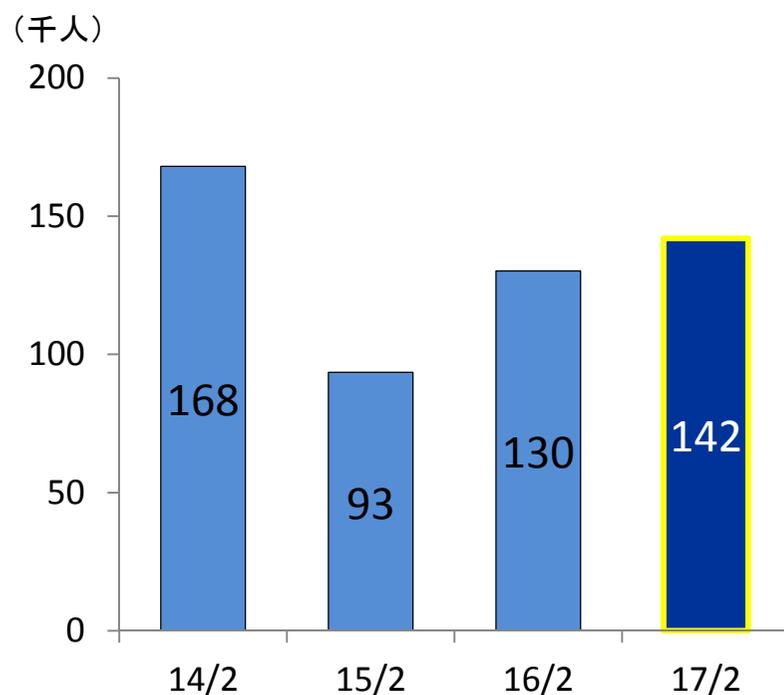


5. 会員数(クレジットカード)

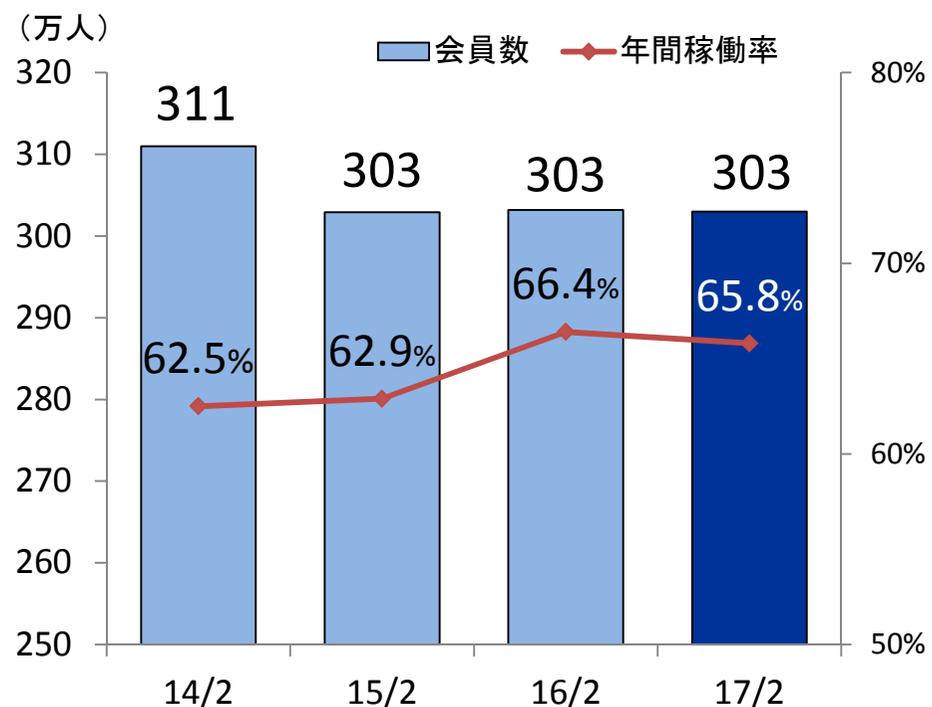


- 新規募集は、ユニー店頭に加えて、WEBや外部提携先での活動を強化。
- 累計会員数は、303万人とほぼ横ばいで推移。

新規獲得件数の推移



累計会員数と年間稼働率の推移

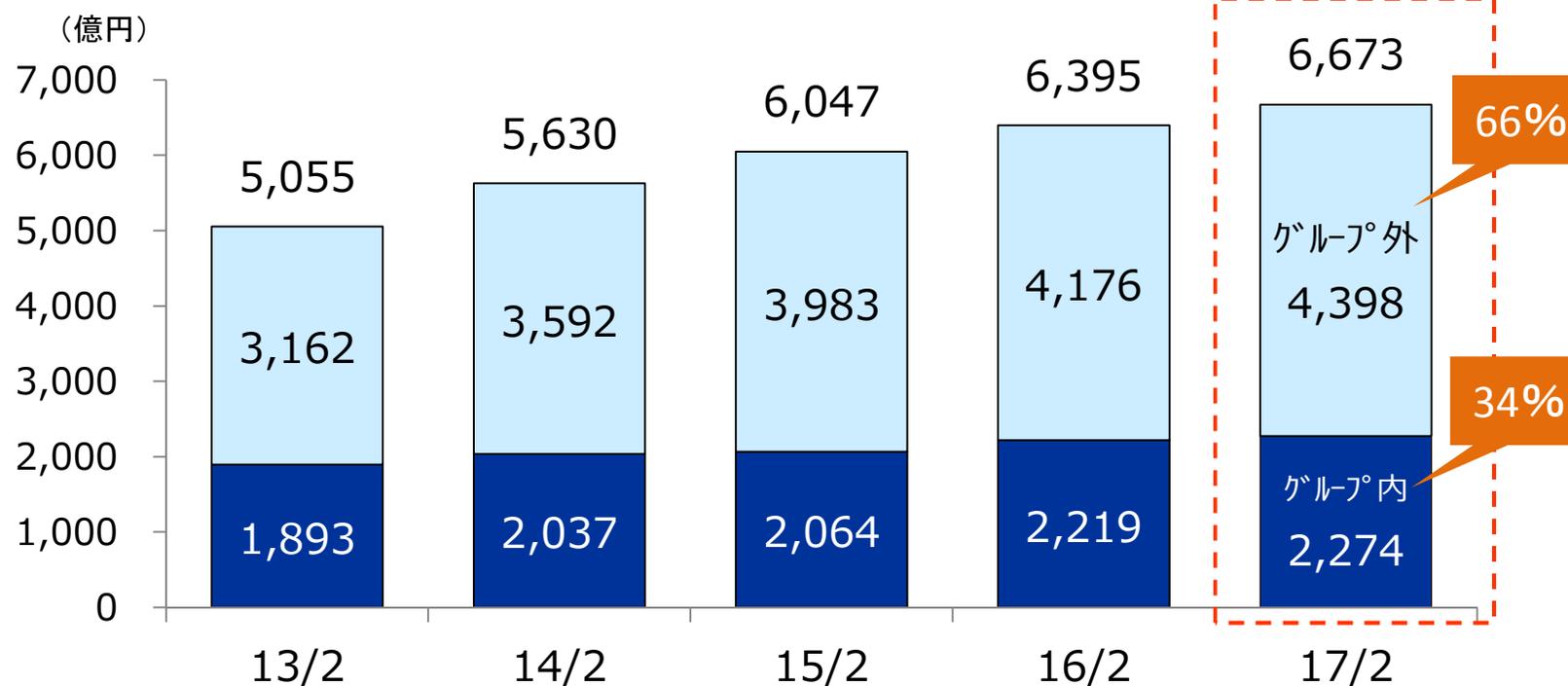


6. ショッピング(クレジットカード)



- 取扱高は、個人消費の停滞やユニー閉店の影響で伸び率が鈍化。
グループ内は前年比 102.5%、グループ外は前年比 105.3%で着地。

ショッピング取扱高の推移



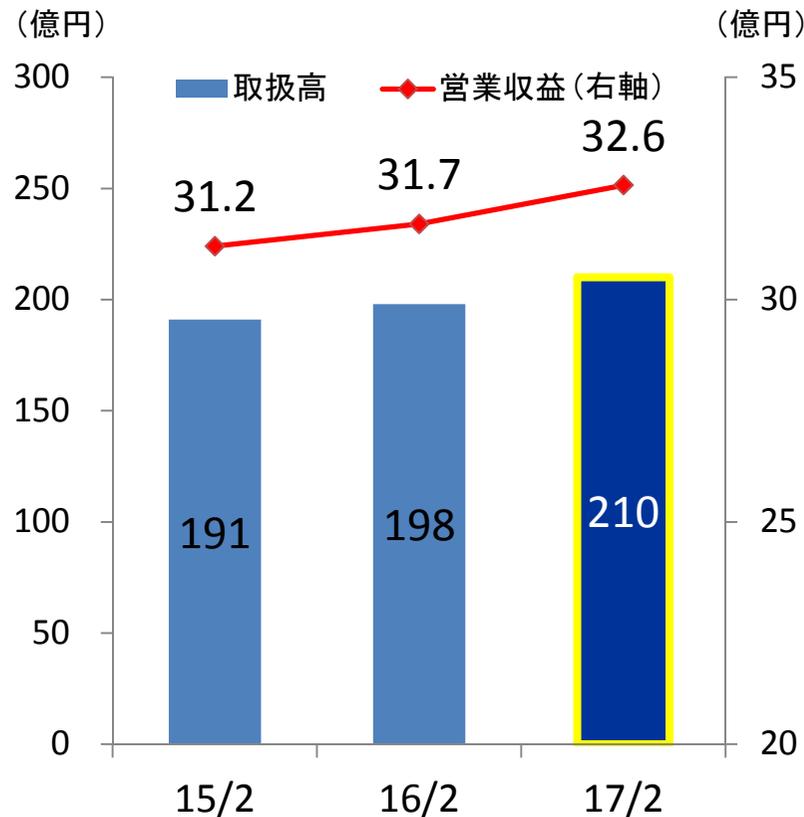
請求単価	37,770円	39,405円	41,971円	42,589円	43,817円
月間稼働率	39.5%	43.2%	44.5%	47.3%	47.8%

7. ショッピングリボ・分割

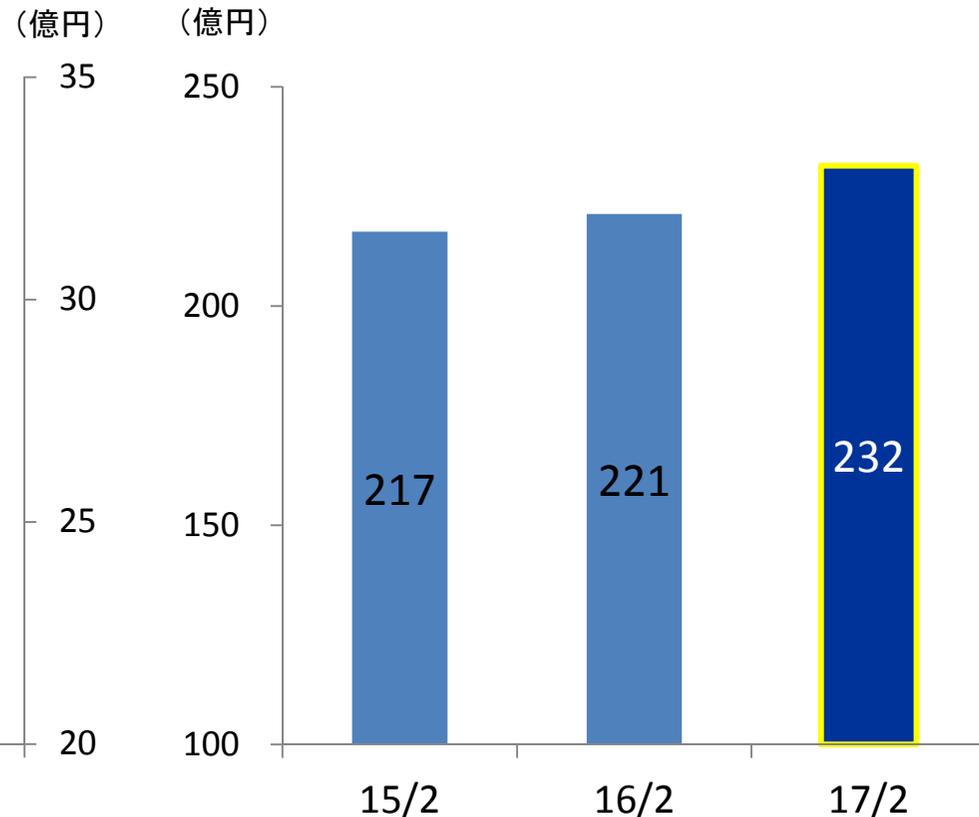


- 部署横断的なリボ推進プロモーションの展開と機動的な与信施策により取扱高、残高、営業収益ともに好調に推移。

取扱高と営業収益の推移



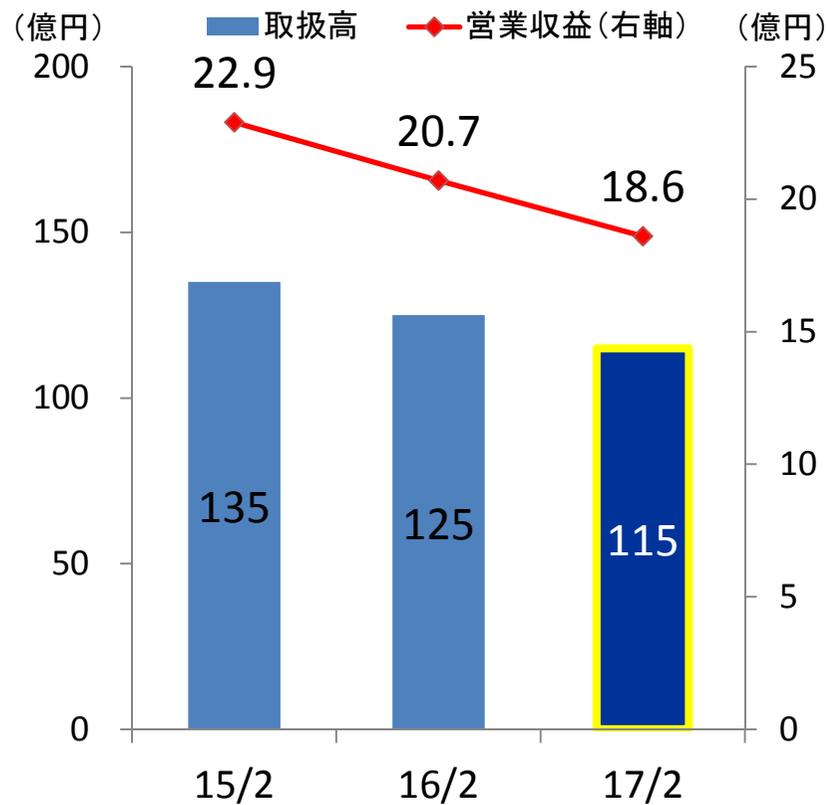
リボ分割残高の推移



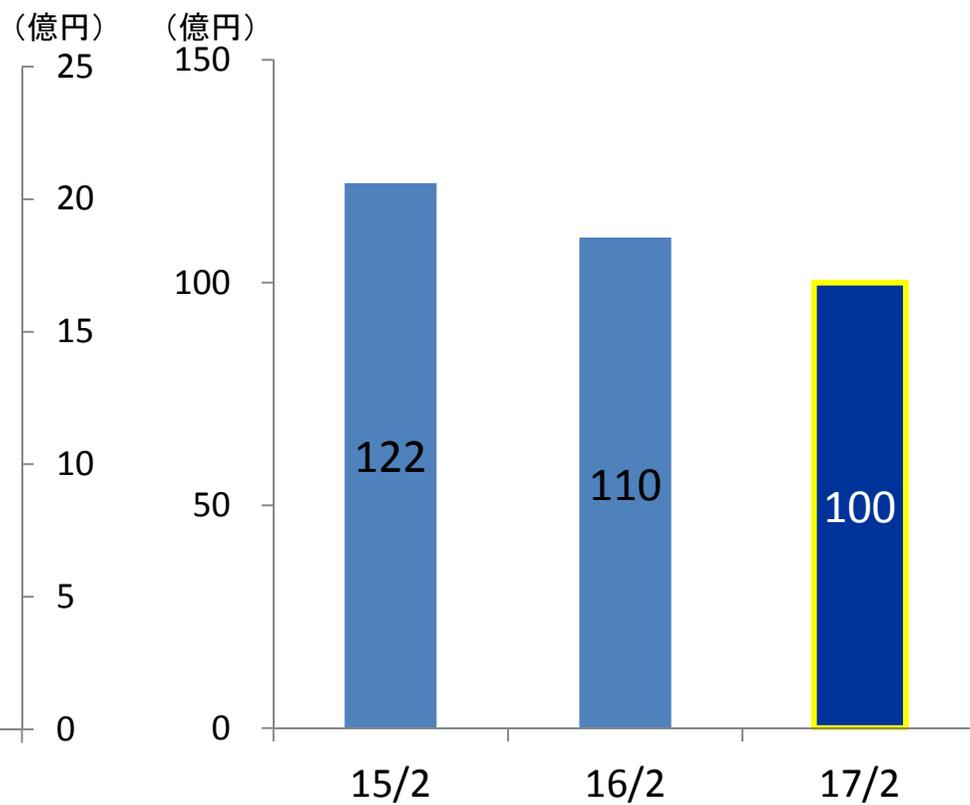
8. 融資

- 融資分門は、証書貸付やインターネットキャッシングなど一部で回復の兆しがあるものの、全体では縮小傾向が継続。

取扱高と営業収益の推移



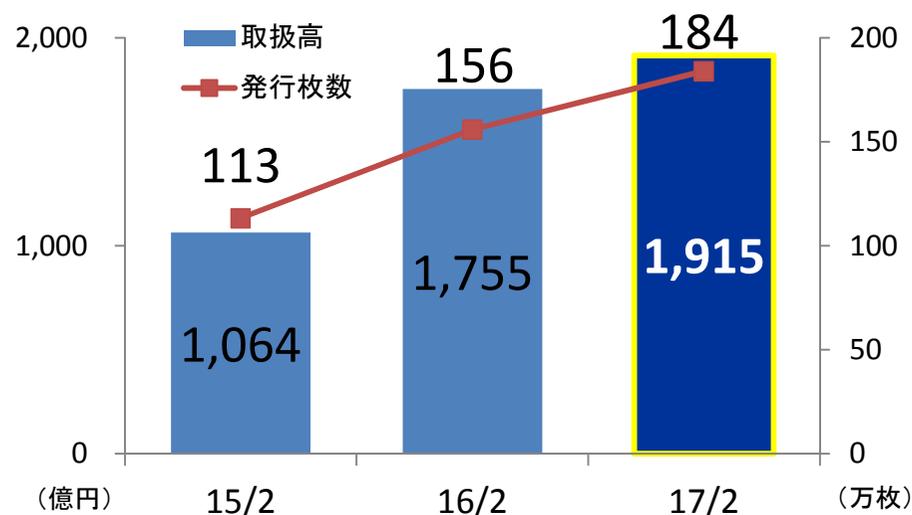
残高の推移



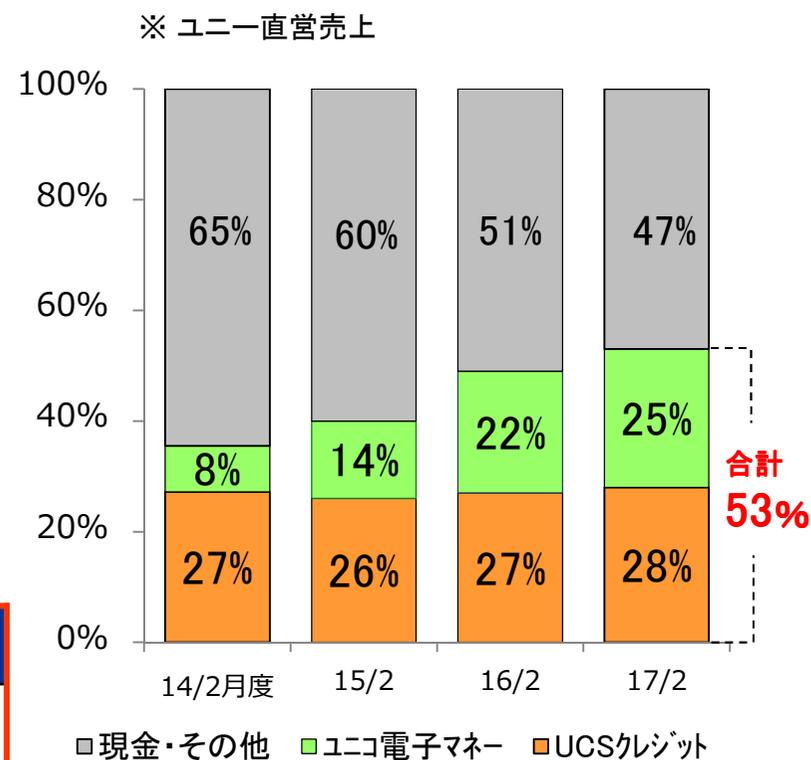
9. 電子マネー「ユニコ」

導入効果が一巡し、会員数および取扱高の伸びが鈍化するも、決済比率は拡大しており着実に浸透が進む。

実績



ユニー決済比率



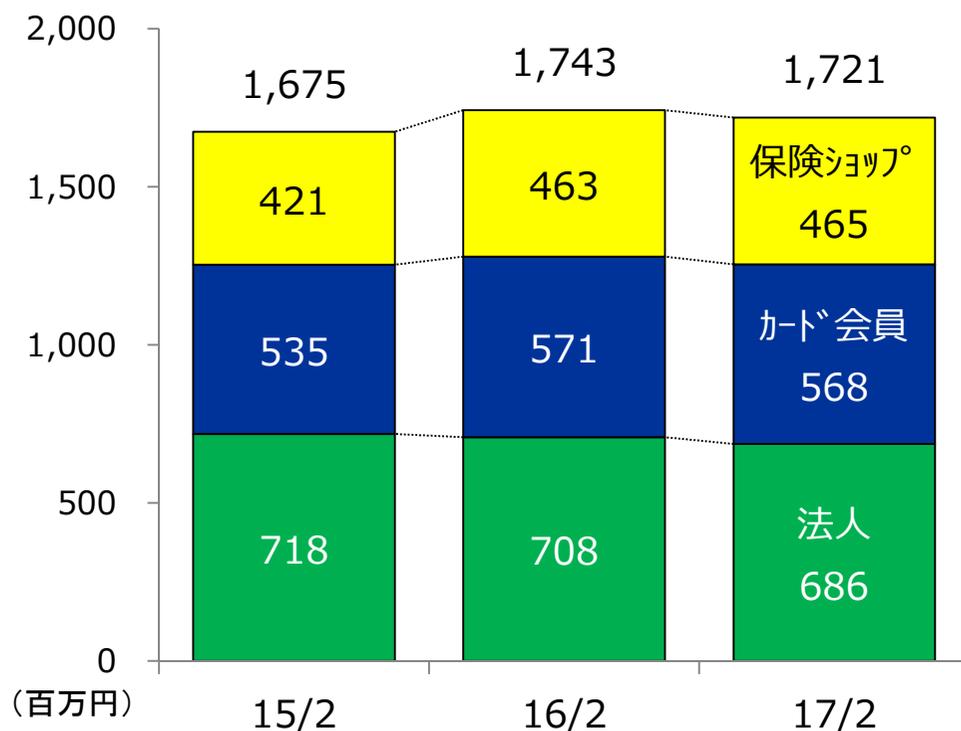
稼働率と利用額

	15/2	16/2	17/2
月間稼働率	65.8%	59.7%	53.2%
月間平均利用額	17,571円	17,560円	17,438円

10. 保険代理業

- 営業収益は1,721百万円(前年比 98.7%)。
法人向け およびカード会員向けチャンネルが苦戦。

販売チャンネル別営業収益の推移



【保険ショップ】

不採算店の閉店(3店舗)や提携店への切替を実施。営業収益は前年比 100.5%と横ばいで推移。

【カード会員向け】

主力のアメリカンホームの日本市場撤退の影響で、既契約の解約率が増加し、営業収益は前年比 99.5%。

【法人】

サークルKサンクスの店舗数減少に伴う保険契約の切替が進み、営業収益は前年比 97.0%。

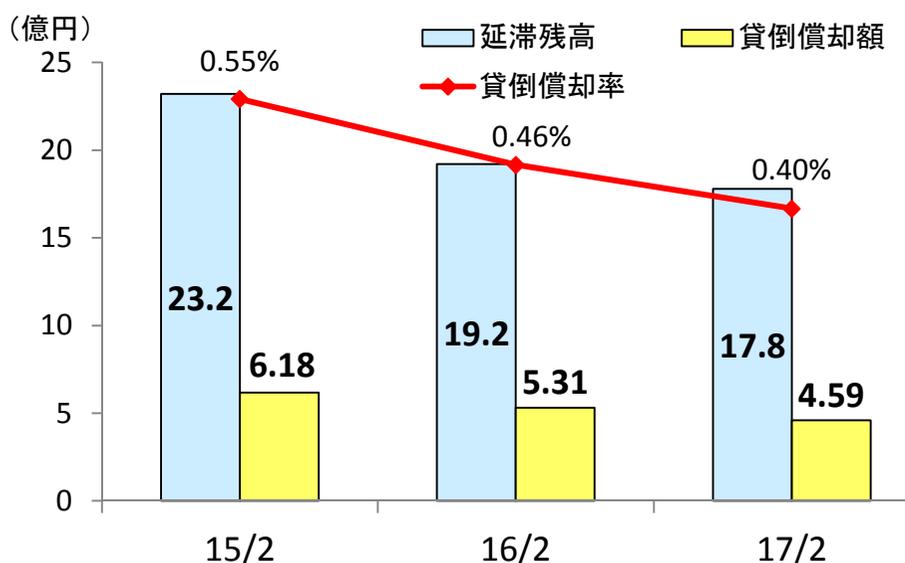
11. 貸倒関連

- 債権の健全化により、延滞債権残高の削減、償却率の改善が継続。しかしながら、引当金戻し益の縮小で、貸倒コストは増加。

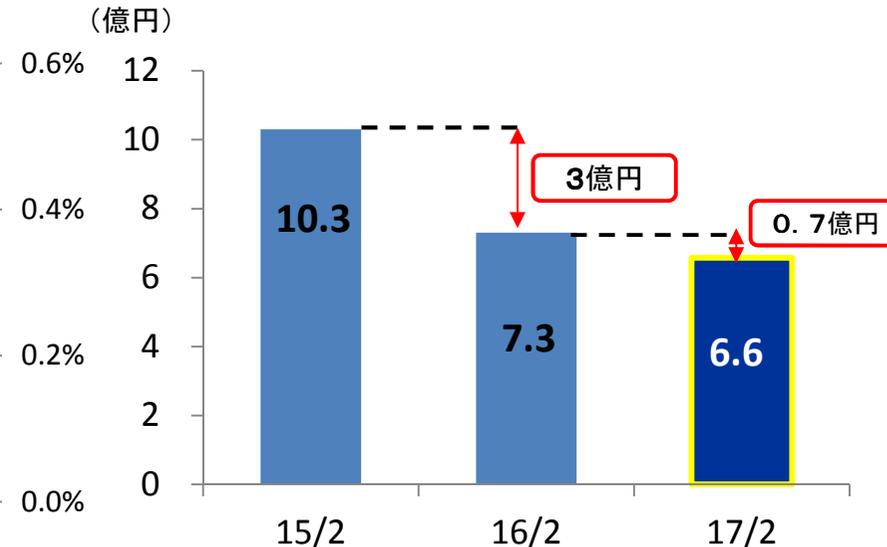
(金額:百万円)

	15/2	前年差	16/2	前年差	17/2	前年差
引当金繰入額	123	+285	227	+103	389	+162

延滞債権残高、貸倒償却額、貸倒償却率の推移



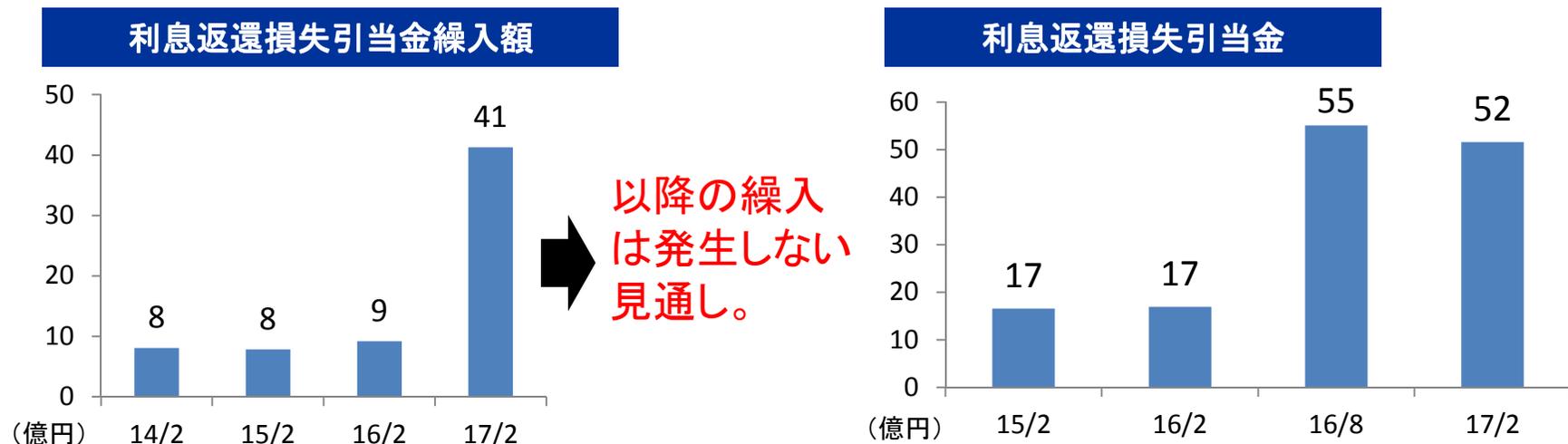
貸倒引当金の推移



※ 償却率 = 貸倒償却額 ÷ 総営業債権 ※ 延滞債権残高 = 90日以上の延滞債権の残高

12. 利息返還損失関連

- 引当金の見積方法を見直し、第2四半期に約37億円の追加繰入を実施。



見直し理由

新債権管理システムの導入
(2015年2月期)

利息返還実績データの蓄積

返還リスクの見積もりが可能

見直し内容

【従来】
一定期間の返還リスクに基づく
引当金を計上

【今回】
将来にわたる返還リスクに
基づく引当金を計上

今後の見通し

**当期以降、利息返還
損失引当金繰入額は
発生しない見通し。**

ただし、見積もりにおける前提条件に大きな変更があった場合は対応が必要となる場合があります。

13. 資金調達

- CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)の効果により、効率的な資金調達、および調達金利が低減。

■ 借入状況

(金額：億円)

	15/2期末	16/2期末	17/2期末	増減
短期借入(UFHD)	435	436	484	+ 47
長期借入	57	28	5	▲ 23
長期借入(UNY)	30	50	50	± 0
債権流動化	5	5	5	± 0
資金調達合計	527	519	544	+ 24

■ 金融費用

(金額：百万円)

	15/2月期	16/2月期	17/2月期	増減
支払利息	237	190	135	▲ 54

14. 配当

- 利息返還損失引当金の追加繰入により利益が低下しましたが、一時的な要因であることから、安定・継続した配当を実施予定。

	2015年2月期 実績	2016年2月期 実績	2017年2月期 予想
1株当たり配当金	20円	25円	25円
1株当たり純利益	114.34円	124.07円	1.03円
配当性向	17.5%	20.1%	2415.9%

II 2018年2月期の取り組み

(2017/3/1～2018/2/28)

1. 経営方針

「成長と改革への挑戦」

グループ外への営業活動を強化

質的改善による利益率の向上

2-1. カード事業 (特典・機能)



優待特典・決済機能の拡充でカードの付加価値を向上。

2016年度の主な新規開発



株式会社アトム

【特典】

日曜日 ポイント2倍



株式会社アイグリット・

ソリューションズ

【特典】

「スマ電」契約でポイント優待

2017年度 新規開発



株式会社AOKI

【特典】

常時5%割引



株式会社サガミチェーン

【特典】

毎月3の付く日はポイント2倍



ユニー株式会社

【特典】

毎週日曜日はポイント2倍



Apple Payと新生活をはじめよう

Apple Payで、UCSカードが使えるようになりました。
もちろん、カードのメリットはそのまま。
簡単で、安全で、あなたのプライバシーをしっかり守れる
お支払い方法です。



【機能】

UCSカード(JCB・Master)

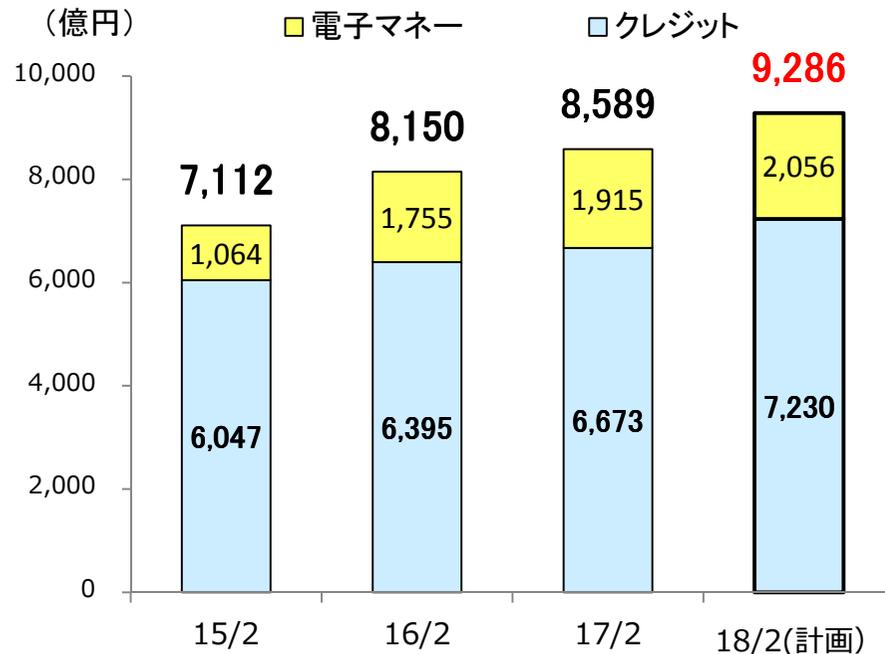
Apple Pay対応開始。

2-2. カード事業（取扱高と会員数）



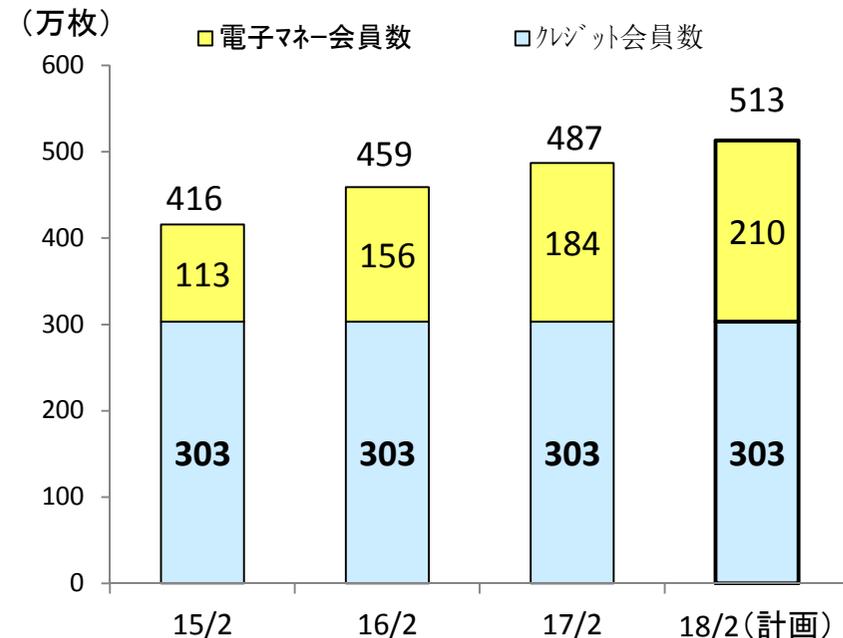
提携加盟店開発とユニーとの連携強化でメインカード化を推進

カード取扱高



重点指標	2017/2期	2018/2期計画
ロイヤル会員	309千名	340千名 +10%
月間請求単価	43,817円	45,575円 +1,700円

カード会員数



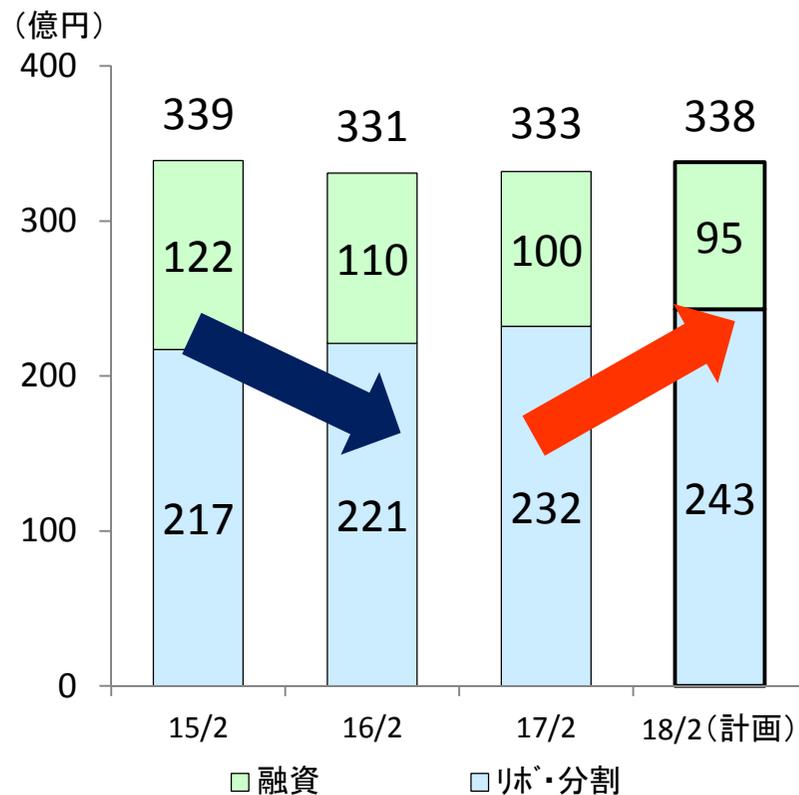
区分	獲得数	重点取組み
クレジット	10万	WEB募集の拡大 グループ外の比率 35%
電子マネー	26万	カード発行業務の受託

2-3. カード事業（残高商品）

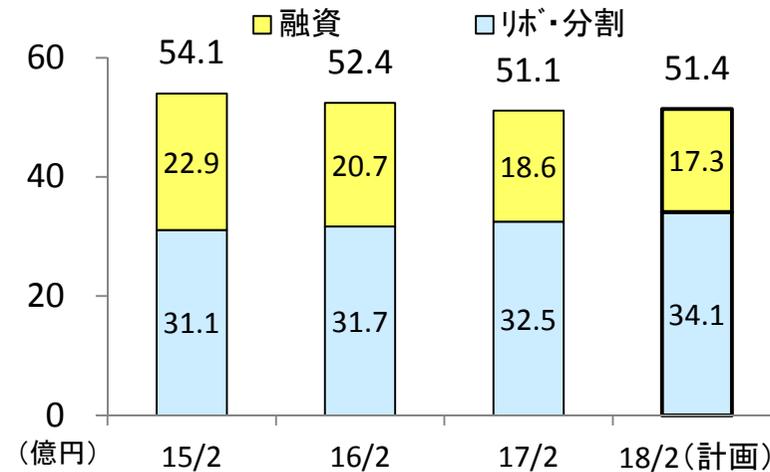


- ショッピングリボに注力し、残高を上積み。
- 与信リスクとバランスをとりながら収益拡大を図る。

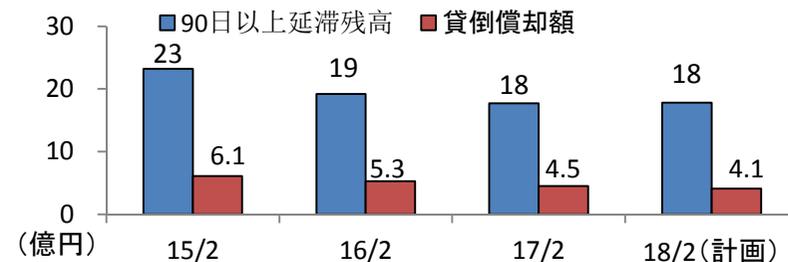
残高



営業収益



長期延滞債権残高と償却額



2-4. カード事業（業務改善とセキュリティ）



- 業務効率の改善によるコスト削減。
- セキュリティ対策の実施。

業務改善

新規カード発行

- 獲得は量から質へ。新規稼働率を改善。
- タブレット受付の本格導入で、発行業務を効率化。

WEB活用

- WEB明細を活用し、通信費用を削減。
- 会員管理業務(諸変更)でのWEB手続き推奨。

その他

- 資金回収日数の短縮、資金調達手段の多様化。
- システム構成の見直しで、保守費用を削減。

セキュリティ対策

ICカード化

偽造対策の強化。2020年までに対応完了予定。

PCI DSS対応

カード番号の保護対策。当期よりシステム対応に着手。

3. 保険代理業

グループ向け保険の縮小に対して、一般向け部門を強化。

会員向け保険

主力のアメリカンホームの日本撤退により既契約の継続率の改善が課題。



- 既契約者向け、継続プランの提案強化。
- 営業手法の多様化。(通販と対面の融合)

ショップ部門

人手不足による販売スタッフの確保が課題。



- 安定した店舗運営体制の確立。
- コールセンターからの店舗誘導を強化。

営業計画	2017/2期	2018/2期計画
保険営業収益(全体)	1,721 百万円	1,670 百万円 ▲3%

4. 2018年2月期業績予想

(単位: 億円、%)

項目	2017年2月期 実績	2018年2月期	
		予想	増減比
営業収益	199	205	+2.5
営業利益	3	40	+1226.3
経常利益	3	40	+1211.6
当期純利益	0.19	25.5	+13002.4
経常利益率 (%)	1.5	19.5	

■ 将来予測について

本資料で提供されている情報は、当社の過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、発表した時点で入手できる情報に基づいたものであり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果が本資料に記載した予測・予想・計画と異なる可能性があり得ることを、ご承知おきください。

■ お問い合わせ先

住所 〒492-8686

愛知県稲沢市天池五反田町1番地

電話 0587-24-9028 FAX 0587-24-9038

<https://www.ucscard.co.jp/index.html>

ir@ucscard.co.jp

IR担当 / 経営政策部 浅井